

石川県七尾美術館だより

No.116

令和6年 冬

ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM



自然とともにく水や植物のある風景く 彫刻って面白い！くこれってなんだ？からそっくりまでく

12月22日(金)く令和6年2月12日(月・祝) 【開催中】

平成7年(1995)4月に開館した当館ですが、ご厚意により多くの作品ご寄附をうけ、その数は購入も含めて800点を超えました。これら所蔵品は、主に「池田コレクション」と「能登ゆかりの美術工芸品」に大別されます。当館ではこれらの作品を多くの方にご鑑賞いただくため、年に数回テーマを変えながら公開しています。本展もその一環で、今回は「自然とともに」「彫刻って面白い！」の2テーマで、洋画・日本画・やきもの・染色・写真・彫刻の計57点を紹介します。

◆第1展示室

「自然とともにく水や植物のある風景く」

私たちは常に自然とともにあり、広い意味では人間も自然の一部といえるでしょう。

さて、海や川、山や植物は、常に形を変えてはいますが、私たちに多くの恵みを与えてくれ

ます。また、日本においては四季折々の風景が目を楽しませ、心豊かにしてくれています。ここでは、水や植物のある風景や自然を感じる作品など、23点を紹介します。



「冬の舟宿」松下久信
※京都府丹後半島伊根港の冬景色。風情があってファンも多い。深い海の色と、屋根に積もる白い雪とのコントラストが美しい。



「織部鮑形向附」(池田コレクション)

◆第2展示室

「彫刻って面白い！」

くこれってなんだ？からそっくりまでく」

一言で「彫刻」といっても、粘土・石膏・ブ

ロンズ・FRP(繊維強化プラスチック)・石・木・金属などの素材があります。技法においても、粘土のように肉付けて成形するもの(塑像)や、型を作って制作するもの、石や木を彫ったり組み合わせたもの、さらには様々な金属を加工した作品など多種多様です。また、「これはなんだろう?」と思う抽象作品から、「本物そっくり!」と思える具象作品まであって、それら彫刻作品の多様性が、面白さや魅力でもあるのです。ここでは、様々な素材による彫刻作品34点をお楽しみください。



「土部」山崎朝雲
(池田コレクション)

※「土部」(はじべ)とは土師器(はじぎ)を制作する職人。肩を掻きたいが手が泥で使えず、顎で掻こうとする姿がユーモラスだ。



「緋の舞」末政哲夫

◆共通観覧料

	一般	個人	団体
大学生	280円	280円	280円
高校生以下無料・団体は20名以上です。	280円	280円	280円

やきもの鑑賞のススメ・まなざしの先

令和6年2月23日(金・祝)～4月21日(日)

所蔵品より2つのテーマで約60点を紹介します。

◆第1展示室

「やきもの鑑賞のススメ」

一万年以上前に「土器」が生み出されて以降、やきものと私たちは常に密接な関係にあります。日常の煮炊き・食事を使うだけでなく、神仏への供物を入れたり、茶の湯の席で用いられたりと様々な場面でやきものが大活躍してきました。また、近代以降になると数寄者たちによって古陶の蒐集が行われ、その美しさを賞翫する対象ともなりました。

当館所蔵品の中核・「池田コレクション」

を蒐集した池田文夫氏(1907～87)も、



「織部すき文徳利」
(池田コレクション)



「釉裏金彩牡丹唐草文壺」
吉田美統

やきものに魅せられた一人でしょう。池田氏はあれこれ難しいことを考えず、お気に入り作品に触れることを何よりの楽しみとしていたようです。

また現代では伝統的なやきものだけでなく、その技法を用いた彫刻的な作品などもあり、その表現方法はさらに多彩となっています。

本テーマでは池田コレクションのやきものほか県内を代表する現代陶芸家の作品など約30点を紹介します。多様なやきもの世界をお楽しみください。

◆第2展示室

「まなざしの先」

「目は口ほどに物を言う」ということわざがあるように、私たちの目には相手に感情を訴えかける力があります。それは喜びであったり、悲しみであったり、あるいは怒りであったりと様々ですが、相手の顔を見た時に、思いがけない感情に気づき、ドキッとした経

※会期が変更となる場合があります。
あらかじめご了承ください。

験は誰しもあるのではないのでしょうか。

本テーマではこの「まなざし」に着目。現代絵画を中心に、写真や工芸などの当館所蔵品のうち、まなざしや視線が印象的な作品をセレクト、約30点を展示します。それぞれの作品の「まなざしの先」に何があるのか、皆さまざま思いを馳せてみてください。



「鎮魂 1972 グラン・ド・ジョラス」 稲元実



「バレリーナ」 八野田博



「少女」
斎田正一

◇共通観覧料

	一般	個人	団体
大学生	2800円	2800円	2200円

※高校生以下無料・団体は20名以上です。

第24回「友の会鑑賞の旅」実施報告

10月19日（木）、友の会会員さま21名と同行職員2名の計23人で、第24回友の会鑑賞の旅を催行しました。

最初の目的地は石川県立美術館と国立工芸館。「いしかわ百万石文化祭2023」のメイン行事として開催された「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川―麗しき美の煌めき―」を鑑賞しました。まず、県立美術館の寺川和子学芸課長より同展の模様を解説していただき、その後展覧会場へ。何といても注目度が一番高かったのは伊藤若冲筆「動植綵絵」で、この時は「群鶏図」「薔薇小禽図」の2幅が展示されていました。どちらも鮮やかな色彩と細密な筆致によって描かれており、息をのむばかりでした。その他にも高階隆兼筆「春日権現験記絵」、海野勝珉作「太平楽置物」など、その時代を代表する作家の作品や、皇室と前田家のつながりを感じられる作品などを堪能しました。

県立美術館・国立工芸館を出た後は、醤油のまち・大野のヤマト糍パークへ向かいました。パーク内を見学し、熱い「糍愛」を拝聴後、発酵食美人食堂にて様々な発酵食品を使った

ヘルシーなランチをいただきました。

お土産などショッピングを楽しんだ後は大野からくり記念館へ行きました。建物を設計したのが当館と同じく内井昭蔵氏と、何かとつながりのある博物館です。ここでは佐藤文夫館長によるからくり人形の実演で、笑いの絶えないひと時を過ごしました。

好天にも恵まれ、また皆さまのご協力のおかげでほぼ予定通りの時間で行程を進めることが出来ました。ご参加くださった皆さまありがとうございます。また、最後になりますが、今回の七尾美術館友の会鑑賞の旅におきまして、ご協力いただきました各訪問先の皆さまに厚く御礼申し上げます。



令和5年度 友の会美術講座実施報告

「切り絵にチャレンジ〜中級から〜」

去る11月24日、2023ポローニヤ展入選作家（切り絵での絵本原画）で、金沢市出身のさぶ さちえ氏を講師にお招きし、切り絵の体験講座を開催、7名が参加されました。まず、さぶ氏の「先生ではなく、さぶちゃんと呼んでね」とのお言葉で笑いがもれ、一気に緊張がほぐれたようでした。道具や制作過程の説明を受け、様々な素敵なオーナメント見本から自分の作りたいものを決め、まずは紙を切る練習。いよいよ本番に入ると、皆さんすごい集中力！終了後、「あつという間の2時間でした」「楽しかった！」「などの声が上がりました。クリスマスには、素敵なオーナメントが玄関やツリーを飾ったことでした。」

前日の一般向けWSも含め、長時間ご指導いただいたさぶちゃんに、心より御礼申し上げます。



令和6年度石川県七尾美術館友の会会員募集のご案内

新年度友の会会員を次の要領で募集いたします。

現在会員の方で更新をご希望される方は改めてお申込みください。

お申込みのない場合はそのまま退会となってしまいますのでご注意ください。



令和6年度 石川県七尾美術館 友の会会員証

●入会手続き

受付開始…3月1日（金）から【年度会費1,000円】※1

受付場所…①当館受付カウンター ②郵便振替 ※2（郵便振替用紙をご利用ください）

※1 会員証は美術館だより第117号（春号・令和6年4月1日発行予定）と一緒に送ります。

※2 郵便局備え付けの振替用紙の通信欄に必要事項《会員の区別（更新・新規・元会員）・郵便番号・住所・電話番号・氏名》をご記入のうえ、会費を添えて最寄りの郵便局窓口へお出しください。払込手数料は申込者負担となります。

【郵便振替口座番号：00710-0-50795 加入者名：石川県七尾美術館友の会】

●友の会特典

- 1 「美術館だより」を送ります。（年度内4回発行）
- 2 当館及び石川県能登島ガラス美術館主催の展覧会の観覧料が割引になります。（会員本人と同伴者2名まで）
- 3 相互割引提携館主催の展覧会観覧料が割引になります。（会員本人のみ）
- 4 当館主催特別企画展の開会式・内覧会（一部除く）にご招待します。（無料）
- 5 販売グッズが割引になります。（一部除く）
- 6 喫茶室利用代金が10%割引になります。（10円未満切捨）
- 7 研修旅行や美術講座に参加できます。

※納入された会費はお返しできませんのでご了承ください。

貸館催し物案内

市民ギャラリー

入場無料

我ら等伯の末裔なり

小学生水墨画作品展

1月5日（金）～31日（水）

最終日は15時まで

主催 七尾市教育委員会

連絡先 ☎0767(53)5090

当館収蔵品貸出情報（1月1日現在）

※展覧会の詳細は開催館にお問い合わせください。

展覧会① 「よみがえった文化財

―保存活用を支える修復技術―

作品名 絵画「陳希夷睡図」

1幅

長谷川信春（等伯）筆
桃山時代（16世紀）制作

展覧会② 「没後30年 田中太郎

―誠をつくす彫刻―

作品名 彫刻「母子群像」

1点

田中太郎作
昭和60年（1985）制作
第81回太平洋美術展奨励賞受賞
など田中太郎作品計23点

会期

（展覧会①・②とも）
1月4日（木）～2月12日（月・祝）
《会期中無休》

会場

（展覧会①・②とも）
石川県立美術館
☎076(231)7580
（金沢市出羽町2-1）

長谷川等伯展（仮称）

4月27日（土）～5月26日（日）

会期中無休

昨年秋に石川県で開催された、文化の祭典「いしかわ百万石文化祭2023」。期間中の県内は様々なイベントづくしで、まさしく「文化の百花繚乱」という様相でした。

従って昨年は、文化への関心度が大きいに高まったように思います。さてこそせつかくの機運を一過性の「ブーム」で収束させず、定着させてゆくことが肝要でしょう。

当館でもそのよき流れを維持させ、本年も皆さまの耳目を集めるような展覧会などを、鋭意開催すべく注力してまいります。

さて令和6年度春、特別展としてトップを飾るのが、当館では恒例の「長谷川等伯展」です。平成8年より毎年欠かさずに継続してきた同展も、ついに29回目の開催を迎えることとなりました。



「三十番神図」長谷川信春（等伯）筆
高岡市・大法寺蔵 重要文化財



「枯木猿猴図」（部分）長谷川等伯筆
京都市・龍泉庵蔵 重要文化財



「吉野桜図屏風」（部分）
長谷川宗宅（等後）筆
京都市・妙蓮寺蔵



「四愛図」（部分）
長谷川等伯筆
愛知県・有楽苑蔵

今回の「長谷川等伯展」では等伯晩年期水墨画の代表作で、加賀前田家ともゆかりのある名品「枯木猿猴図」（京都市・龍泉庵蔵）が、満を持して登場。同品を中心に、左記3テーマで計32点の展示を予定しております。

テーマ1 「絵仏師・信春の画業」…早い時期より仏画のみならず、様々な画題を手広くこなしていた等伯。本テーマでは若き等伯の仏画や鑑賞画、肖像画を紹介します。

テーマ2 「等伯の水墨画」…主に等伯50歳以降制作の水墨画に注目。「枯木猿猴図」をはじめ、当館では初公開となる「四愛図横」（愛知県・有楽苑蔵）などを展示。

テーマ3 「長谷川派の絵師たち」…等伯の息子や弟子たちなど「長谷川派」と総称される絵師たちの、多彩な作品をご披露します。本展詳細については、「美術館だより」次号で改めて紹介しますのでご期待ください。

表紙



「星への帰還 -ARPA-」吉田隆（1953～）

金属 昭和62年（1987）制作 当館蔵

ARPA（豎琴）は作者が好んだモチーフの一つ。

ARPAには星が瞬く空間が内包され、横たわる人物から金色の帯が伸びて宇宙へとつながる。人はどこから来て、どこへ帰るのか…。いつの日か、奏でられる美しい音色によって、遙か宇宙へと還るのであろうか。

石川県七尾美術館だより No.116

発行日：令和6年1月1日

発行者：公益財団法人七尾美術財団

〒926-0855 七尾市小丸山台一丁目1番地

TEL.0767-53-1500 FAX.0767-53-6262

<https://nanao-art-museum.jp>